

平成20年6月21日梅雨前線に伴う出水と寺内ダム の洪水調節効果について

寺内ダムの洪水調節により下流河川に洪水被害軽減の効果がありました。

平成20年6月19日から22日、九州地方は梅雨前線の活発な活動により局地的に激しい降雨となりました。筑後川水系佐田川の寺内ダム(福岡県朝倉市)上流域では、累計雨量約319mm(ダム流域平均雨量)の降雨を観測しました。

特に21日14時から15時にかけての時間雨量は約27mm、13時から16時の3時間累計雨量は約69mmとなり、19日4時(降り始め)から22日15時までの流域平均の総雨量は約319mmに達しました。

寺内ダムでは、最大流入量約 $100\text{m}^3/\text{秒}$ に対し、約 $91\text{m}^3/\text{秒}$ の放流をおこなない約 $9\text{m}^3/\text{秒}$ の調節を行いました。

また、今回の梅雨前線の活動では、佐田川の寺内ダム下流域にも大雨をもたらし、ダム下流約8kmの金丸橋地点では、はん濫注意水位付近まで上昇しましたが、もし、ダムがなければ金丸橋地点で水位が約0.08m上昇したものと想定されます。

寺内ダムでは、今後もダム管理に万全を期して参りますので、ご協力よろしくお願ひします。

《配付先》

西日本新聞朝倉支局
読売新聞筑紫支局
毎日新聞福岡南支局
朝日新聞太宰府支局

《問い合わせ先》

独立行政法人水資源機構 寺内ダム管理所
所長代理 石下谷 幸一 (いしげたに こういち)
電話番号 (0946)22-6713

【配布資料】

平成20年6月21日梅雨前線に伴う出水と寺内ダムの洪水調節効果について

寺内ダム諸元

平常時最高水位(常時満水位): EL.121.50m
 洪水時最高水位(サーチャージ水位): EL.131.50m
 総貯水量: 18,000,000m³ 有効貯水量: 16,000,000m³
 洪水調節容量: 7,000,000m³
 洪水調節開始流量: 90m³/秒 計画最大流入量: 300m³/秒
 計画最大放流量: 120m³/秒



* 寺内ダムの洪水調節により下流河川に洪水被害軽減の効果がありました *

平成20年6月19日から22日、九州地方は梅雨前線の活発な活動により局地的に激しい降雨となりました。筑後川水系佐田川の寺内ダム(福岡県朝倉市)上流域では、累計雨量約319mm(ダム流域平均雨量)の降雨を観測しました。

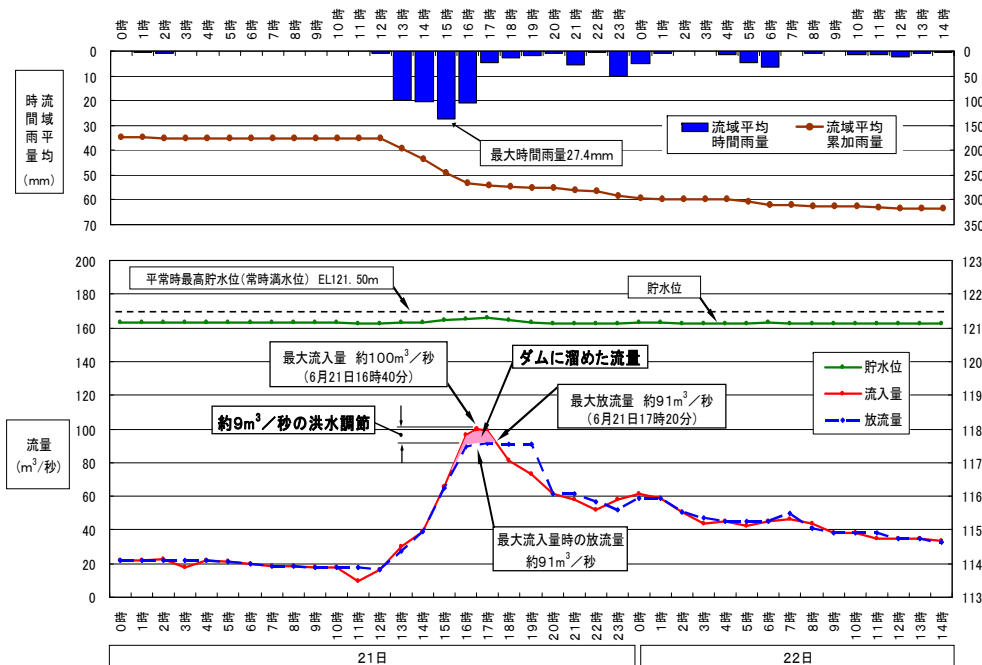
特に21日14時から15時にかけての時間雨量は約27mm、13時から16時の3時間累計雨量は約69mmとなり、19日4時(降り始め)から22日15時までの流域平均の総雨量は約319mmに達しました。

寺内ダムでは、最大流入量約100m³/秒に対し、約91m³/秒の放流をおこない約9m³/秒の調節を行いました。

また、今回の梅雨前線の活動では、佐田川の寺内ダム下流域にも大雨をもたらし、ダム下流約8kmの金丸橋地点では、氾濫注意水位付近まで上昇しましたが、もし、ダムがなければ金丸橋地点で水位が約0.08m上昇したものと想定されます。

寺内ダムでは、今後もダム管理に万全を期して参りますので、ご協力よろしくお願ひします。

寺内ダム洪水調節状況(6月21日・22日)



ダムの洪水調節効果【金丸橋地点の水位低減】

